

coop

兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2025 **10**



9月18日に開催された「虹の仲間づくりカレッジ」では、背中合わせで相手に言葉だけで図形を伝える「図形伝達ゲーム」をしました。伝えることの難しさ・コミュニケーションの大切さをゲームを通して体感し、チームの結束がより高まりました。



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます



宝塚医療生活協同組合
専務理事

浜崎 拓馬
(はまさき・たくま)

「組合員が主人公」となる 開かれた事業運営をめざし、 「公正な社会」を地域から

私は、平成12年4月に宝塚医療生活協同組合に入職し、良元診療所に配属、その後医療事務・経理・総務等の業務を担当して参りました。そして本年6月21日に開催された「第58回通常総代会」で、役員選任議案が可決承認され、その後、後継者対策の遅れ、電子化対応による費用の増加など課題が山積してきます。特に、地域に長く根付いてきた診療所の後継者長医師の確保が問題となっており、持続可能な法人経営をめざすため今後さらに奮闘が求められます。

宝塚医療生活協同組合は、1972年9月17日に設立され、高松診療所、良元診療所という2つの診療所と、訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、デイサービスひだまり、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション、認知症対応型デイサービス、2つの居宅介護支援事業所を運営しています。1951年に高松診療所が開設、1953年に良元診療所が開設、1972年に良元健康守る会を改組して宝塚医療生活協同組合設立、1979年に高松診療所が宝塚医療生

活協同組合に合流し、統一医療生協となりました。

歴史ある協同組合ではありますが、報酬引き下げや患者・利用者の減少による収益減、医療材料費や水道光熱費の高騰、医療・介護従事者の確保の困難や後継者対策の遅れ、電子化対応による費用の増加など課題が山積してきます。特に、地域に長く根付いてきた診療所の後継者長医師の確保が問題となっており、持続可能な法人経営をめざすため今後さらに奮闘が求められます。

一方で、今こそ協同組合としての本質を学び、地域の人々のつながりを強め、出資・参加・協同の価値を高める時と思われます。組合員活動の担い手づくりは、ビジョン達成の可能性を大きく左右します。あらゆる世代の方々が「やりたいことをできる範囲で」参加できる場をつくり、新たな「担い手」が生まれていくことをめざします。そして新しい協同の形を創造し、地域ごとに人々のつながりを作り、「健康づくり」と「平和を守る」社会を後世に残せるよう組合組織の拡大を進めていきます。

CONTENTS

2. 想点
3. 「能登半島地震・奥能登豪雨災害支援 つながる力で能登を笑顔にアクション」参加／第36回 近畿地区生協・行政合同会議 開催
4. 第2弾 まるごと協同ツアーを開催／第10期 虹の仲間づくりカレッジ開催

5. エイブル・アートSDGsプロジェクトを開催します。／兵庫県・兵庫県生協連共催 第27回監事研修会のご案内
6. 協同組合のかけ橋
7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓
8. 2025年度 兵庫県生協大会／県連行事予定／編集後記

「能登半島地震・奥能登豪雨災害支援 つながる力で能登を笑顔にアクション」参加



開会あいさつ
生活協同組合
コープいしかわ
大谷 学 理事長

9月2日～3日の2日間、コープ被災地支援センター（石川県生協連・コープいしかわ・日本生協連）主催の「つながる力で能登を笑顔にアクション in いしかわ」が石川県金沢市で開催され、全国から45の会員生協・団体、185人が参加しました。兵庫県生協連からは6人が参加しました。

「つながる力で能登を笑顔にアクション」は、これまでの能登半島の被災地における復旧・復興の取り組みや被災地の現状や課題を知り、学び、「どこよりもきめ細かく寄り添った」息の長い支援につなげることで、そして全国の生協のそれぞれのエリアでの防災・減災の取り組みに活かしていくことを目的としています。

1日目は、コープいしかわの大谷理事長の開会挨拶の後、コープいしかわ、石川県社会福祉協議会、穴水町社会福祉協議会による能登半島地震・能登半島豪雨災害の対応報告などがありました。最後に分散会が行われ、参加者の活発な意見交流が行われました。

2日目は、門前・輪島コース、町野・輪島コース、能登町・珠洲コースの3コースに分かれて被災地視察が行われました。市街地の住宅が取り壊され更地になっているところ、いまだに倒壊状態のままになっている建物、仮設住宅の様子等も視察しました。2024年1月1日の地震から1年8か月が経ちましたが、その間、奥能登豪雨災害もあり、いまだ復旧が必要な状況が多くみられました。

2日間を通して、参加者はこれまでの支援活動を振り返りながら、被災地の「今」に触れ、現地が抱える課題に耳を傾けました。

被災地で頑張る人たちにどう寄り添い、どのような息の長い支援ができるのかを学び、考える貴重な機会となりました。



第36回近畿地区生協・行政合同会議 開催

テーマを「つながる力で安心して暮らし続けられる地域社会づくりをめざして」として、8月20日、第36回近畿地区生協・行政合同会議が都シティ大阪天王寺で開催されました。近畿地区生協府県連協議会が主催となり、近畿地区の生協担当主幹部局、および各生協府県連の役職員ら34人が出席しました。

開催地行政である大阪府府民文化部 松坂博文部長、厚生労働省社会・援護局福祉基盤課消費生活協同組合業務室 日野徹室長、日本生活協同組合連合会渉外広報本部 松本圭司執行役員本部長からあいさつや報告がありました。

そして、特別報告として長野県高齢者生活協同組合副理事長、日本協同組合学会元会長 田中夏子氏から「つながる力で安心して暮らし続けられる地域社会づくりをめざして」と題して、地域から紡ぐ協同として長野県高齢者生協の取り組みや活動の紹介、協同組合の位置づけや今後のあり方についてお話をいただきました。

また4つの生協および団体から実践報告と質疑応答を行いました。近畿地区の生協・生協連と行政の意見交流など、生協に携わるさまざまな人の交流を図ることができました。



厚生労働省 日野徹室長



近畿地区の行政担当者、生協役職員など34人が集いました

第2弾 まるごと協同ツアーを開催

兵庫 JCC では、9月22日に JA 兵庫南にて第2回目となる「まるごと協同ツアー」を開催しました。このツアーは、若い世代に、協同組合の理念とともに、その具体的な取り組みを現地に行って知ってもらうことを目的にしています。当日は大学生や各協同組合関連組織の若手職員など計7人が参加しました。

参加者は、生協、農協、漁協、森林組合から協同組合の理念や事業・活動内容の紹介を受けたあと、稲美町にある株式会社 LEAD の圃場へ移動し、代表取締役の都倉貴博氏から、地域の農業の現状や農業に対するご自身の熱い思いを聞きました。その後、JA 兵庫南が運営する農産物直売所「にじろふあ〜みん」を見学するとともに、地元の新鮮な農畜産物の買い物を行いました。

ツアーの最後には、グループに分かれ振り返りとして意見交換を行いました。そのなかでは、「普段は感じるができない農業の苦労を初めて知ることができた」「何気なくいつも買い物をしていたけれど、これからは地元のものをできるだけ選ぶように心掛ける」などの意見があり、農業者や JA の取り組みを知る良いきっかけとなりました。

兵庫 JCC では、今後もツアーを定期的に開催し、協同組合組織の魅力を発信していきます。



株式会社 LEAD（稲美町）を訪問



代表取締役の都倉貴博氏から説明をいただく



ツアーの振り返りや協同組合で働くことについて意見交換

第10期 虹の仲間づくりカレッジ開催

9月18日に、神戸商工貿易センタービルにて第10期虹の仲間づくりカレッジの2回目の研修が開催されました。8月5～6日に開催された1回目に引き続き、同じチームで、課題についての深堀や実践に向けた計画を練りました。

実践計画の発表では、参加者同士で突っ込んだ質疑応答もあり、交流が深まりました。

第3回は2026年2月19日に開催され、それまでに各チームで実践をする予定です。



店舗が
障がい者アートの
展覧会場に!

近畿ろうきん&コープこうべ

エイブル・アートSDGsプロジェクト ～ARTS in CO-OP～を開催します。

近畿ろうきんは、障がい者が創る可能性に満ちたアート（エイブル・アート）を、アートとは少し距離のある「日常生活」の中に散りばめることで、イキイキとした日常と、障がいのある方の生活・活動への関心の高まりをとおして、誰一人取り残すことなく安心してらせる地域・社会の実現に寄与することを目的に、エイブルアートSDGsプロジェクト～ARTS in CO-OP～に取り組んでいます。

国際協同組合年の本年は、コープこうべの店舗を舞台に、地域の障がいのある方の多数の作品（コープの店舗を見学して印象に残ったヒト・モノが主な題材）を店舗内に展示するとともに、福祉商品の販売（つながるマルシェ）やワークショップ、ラリーイベントなど様々な取り組み※を実施します。期間限定の「アートなコープ」にぜひご来店ください。

期 間：2025年10月24日（金）～29日（水）

アート展示：10:00～21:00

マルシェ：10:00～15:00

場 所：コープこうべ シーア

1階催事場、2階セントラルコート

〒658-0051 兵庫県神戸市東灘区住吉本町1丁目2-1

JR神戸線「住吉」駅直結

主 催：近畿労働金庫

企画運営：エイブル・アートSDGsプロジェクト2025実行委員会

（兵庫県生活協同組合連合会、生活協同組合コープこうべ、ひょうご障害者芸術文化活動支援センター、社会福祉法人木の芽福祉会、一般財団法人たんぽぽの家、近畿労働金庫）

※アート展示以外のイベントがない日程もございます。日程の詳細は近畿ろうきんホームページでお知らせします。



展示予定の作品
作者：四元 雄飛
（所属団体：こづかやま laboratory）

兵庫県・兵庫県生協連共催 第27回監事研修会のご案内

生協の監事の皆さま・監事スタッフを対象にオンライン（Zoom）で研修会を実施します。

1. 日 時 11月14日（金）13:30～16:30
2. 対 象 会員生協の監事、ならびに監事スタッフ
3. 開催手法 オンライン（Zoom）申込者にご案内します
4. 内 容
 - （1）「監事監査の基本と監事監査規則（予定）」
日本生活協同組合連合会 渉外広報本部 法務部 井藤康治氏
 - （2）生協の指導調査を実施して
兵庫県県民生活部県民躍動課消費政策班
 - （3）質疑応答

お申込み・お問い合わせは

生活協同組合連合会 メール：hyogo@kobe.coop.or.jp（10月20日締切）

協同組合のかけ橋

JF 兵庫漁連 SEAT-CLUB

今年も開催！ 2025年マリンスクール

コープこうべ・JF 神戸市・JF 兵庫漁連による協同組合の連携活動として毎年実施しているマリンスクール（2コース）が今年も開催され、参加した親子連れ、中・高・大学生（112人）は楽しく漁業や県内産水産物について学びました。

第43回となる JF 神戸市コース（7月24～25日）では「せり市」を見学したり、「魚のつかみ取り」、「ヒラメ稚魚の放流」、「タコの塩もみ」などを体験したほか、兵庫の漁業と環境のつながりを学習しました。また、稚魚の放流では、神戸市立栽培漁業センターの協力で魚を増やすことの大切さを学びました。

一方、第15回目となる JF 兵庫漁連 SEAT-CLUB コース（8月5～6日）では「干しダコ作り」や「アジの三枚おろし」、「チリメンモンスター探し」、「兵庫の漁業と環境の学習」に挑戦しました。みなさん、普段あまり魚にふれる機会がないのか、どの内容も親子で一緒に目を輝かせて取り組んでいました。

どちらのコースも、大盛況のうちに終了し、とても楽しんでもらえたようです。

JF 兵庫漁連では、このマリンスクールを通して、漁業や水産物をより広く身近に感じてもらえるよう、今後とも取り組んでいきたいと考えています。



放流



タッチプール



8月5日ご参加いただいたみなさま

JA ハリマ特別栽培米生産部会

人にも環境にも優しい栽培手法で 世界に誇るお米を生産する

本企画は、兵庫県を拠点に活動する生産組織にスポットを当て、設立に至った経緯や注力している取り組み、メンバーの意気込み等を紹介します！

Q1. 部会の成り立ちを教えてください

令和2年に管内の千種高校が栽培したお米が「全国お米甲子園」で金賞を受賞したことをきっかけに、私たちが幼少期から当たり前のように食べてきたこの地のお米は、もしかすると消費者に高く評価されるのではないかと考えるようになりました。

これを契機に、地域をあげて米のブランド化が始まり、本部会が設立されました。

Q2. 部会の特徴について教えてください

本部会は、千種町に水田を持つ21名の農家によって結成されており、部会全体の作付面積は1,680aに上ります。

地名にちなんでブランド名を「ちくさの舞」と名付け、艶やかで食味に優れたお米を追求し、日々丹精を込めて栽培に取り組んでいます。

Q3. 「ちくさの舞」の特徴について教えてください

「ちくさの舞」は、人にも環境にも優しい方法で栽培しています。

牛の飼育が盛んに行われている地域の特性を活かし、牛の糞尿等を使用した堆肥を活用しています。また、環境への負荷を少しでも低減するためネオニコチノイド系農薬を使用しない栽培に取り組んでいます。

Q4. 現在、力を入れている取り組みについて教えてください

地元の秋祭りでは「ちくさの舞」の試食体験を開催し、管内の高校では特別栽培米に関する授業を実施しています。この取り組みを通じて、地域の方々に本部会が栽培するブランド米の魅力を知っていただき、一人でも多くの方に「ちくさの舞」を手にとっていただきたいと考えています。

Q5. 受賞歴を教えてください

1月にジャパン・フード・セレクションの食品・飲料部門にて、最高賞を受賞しました。環境に配慮した栽培方法と地域が一丸となってブランド化を進めた姿勢が高く評価され、大変嬉しく思います。

今後も、自然と人に配慮したお米づくりや普及活動を継続し、「ちくさの舞」を世界に誇るお米に育てていきたいと考えています。





参加無料



身のまわりから SDGsを考えよう!

令和7年度 消費生活講座



10/16(木) 14:00~15:30

「もったいない」で 凹凸社会をならす

～美味しく食べて、手をさしのべる～

まだ食べられるのに、毎日お茶碗1杯分の食品（一人当たり換算）が捨てられていることを知っていますか？正しい知識を学び、社会全体が笑顔になるように、日常生活でできることを考えてみましょう。

見逃し配信あり Zoom 申込



特定非営利活動法人
日本もったいない
食品センター
代表理事

高津 博司 氏



〈講師プロフィール〉

商社時代に慈善活動としていた災害救援物資支援、生活困窮者支援をもとに2017年NPO法人を設立。食品ロス削減と生活困窮者支援活動や啓発を行っている。

10/30(木) 14:00~15:30

「化学物質・化学製品」 と上手につきあう

～正しく使って、つかう責任を～

「まぜるな危険」を知っていますか？フッ素樹脂加工のフライパンの安全性は？暮らしの中で使われている化学製品について知り、人や環境に優しく使えるよう、知識を深めましょう。

見逃し配信あり Zoom 申込



(一社)日本化学工業協会
化学製品PL相談センター
部長

伊東 美樹 氏



〈講師プロフィール〉

化学製品による事故、苦情に対するアドバイスを行い、化学製品についての問い合わせに対応。全国の消費生活センター等で啓発講座を行っている。

申込み方法

会場参加

(兵庫県立消費生活総合センター)

先着30名

①電話：☎ 078-302-4001

(平日10時~17時)

②申込サイト：

こちら→



会場申込

オンライン参加 (Zoomウェビナーでの視聴) 先着200名 ←「見逃し配信」もお申し込みが必要

①申込サイト (上記二次元コード (Zoom申込)) からお申し込みください。

②Zoomウェビナー招待メールが届きます。

当日、参加リンク部分をクリックしてご参加ください。

・申込後、数時間たっても招待メールが届かない場合は、

下記までお電話でお問い合わせください。

・いただきました個人情報は、当講座の運営管理にのみ使用いたします。

③見逃し配信 10/16(木)：10/16(木)17:00~10/19(日)24:00

10/30(木)：10/30(木)17:00~11/2(日)24:00

フードドライブを当センターで実施します。10/14(火)~10/31(金)平日の10時~17時に、未開封で常温保存可能・賞味期限まで1か月以上の食品をお持ちください。詳細はホームページをご覧ください。

お問い合わせ：〒650-0046 神戸市中央区港島中町4-2

兵庫県立消費生活総合センター消費生活情報プラザ TEL:078-302-4001(平日10時~17時)

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

阪神タイガースが優勝しました。ことさら阪神ファンというわけではないのですが、私がまだ小さい頃は、祖父とともに阪神ファンだったようで、六甲おろしを訳も分からず大声で歌っていたようです。そのためか、六甲おろしは今でも覚えています。

さて、ファイル共有ソフト「BitTorrent」(ビットトレント)のお話をしていました。こちらのソフトを使うと、その設計上、自身のファイルも共有されてしまうような仕組みになっていることがあるようです。今、どんなことが起きているかという、この「BitTorrent」(ビットトレント)を利用して、映画や音楽、はたまたAV作品を鑑賞していたら、その制作会社(著作権者)から損害賠償請求されたということなのです。なぜかという、ビットトレントを利用して、映画などをダウンロードして視聴すると、同時にその映画をアップロードしている状態にもなることがあるのです。そうすると、自身はそんなつもりがないのに、著作権を侵害している状態になっているのです。これを制作会社(著作権者)は調査して損害賠償請求をしてくるのです。突然、損害賠償請求をされるとびっくりしてしまいますよね。

ひょうご消費者ネット
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL:078-361-7201 E-mail:office@hyogo-c-net.com



MOVE

2025年度

兵庫県生協大会

つながる力で未来を拓く～平和で持続可能な社会の実現～

と き：2025年10月23日(木) 12:00～16:00

ところ：神戸サンボーホール

(会場が例年と異なります)

- ・ポートライナー「貿易センター駅」下車すぐ
- ・各線「三ノ宮駅」から徒歩約15分

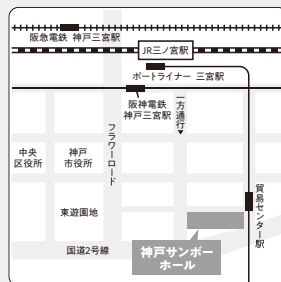
申し込み：各生協・兵庫県生活協同組合連合会まで



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

入場料
無料



第1部

記念式典

13:00～14:00

- 主催者あいさつ
兵庫県生協連会長理事
- 来賓ごあいさつ
兵庫県知事 神戸市長
兵庫県議会議長
- 来賓紹介
- 生協功労者表彰
兵庫県知事感謝
兵庫県生協連会長表彰

巡って知ろう！
生協・協同組合
12:00～12:50
14:00～14:50

試食
あり

- 生協こだわりの商品紹介
- VRゴーグルで防災体験
- 林業ボードゲーム
- 海苔の食べ比べ などなど

10を超える団体が出展！

スタンプラリーも開催！

※試食品などは無くなり次第終了です。ご了承ください。

第2部

ステージ

14:50～／講演

季節の食養生～夏の疲れを整える秋と冬に備えて～

「東洋医学」を実践している漢方専門薬剤師から、日々のくらしから取り入れることができる食養生・薬膳や体を労わるセルフケアについて学びましょう。

講師



阪神医療生協
阪神漢方クリニック薬剤師
福田 裕子 氏

15:30～／講演＆落語

一隅を照らす～自分らしく輝く秘訣～

上方落語協会所属の落語家、天台宗道心寺住職。兵庫県尼崎市在住。高座の他にもテレビ・ラジオで活動中。「自分らしく生きること」をテーマに、笑いを交えた講演と落語。

講師



つばき まるこ
露の団姫 氏

※諸般の事情により、やむを得ず中止、または内容を変更する場合があります。

※悪天候による交通状況で中止する場合は、当日朝9時に兵庫県生活協同組合連合会ホームページに掲載いたします。

兵庫県生活協同組合連合会

検索

主催／兵庫県生活協同組合連合会

神戸市中央区浜辺通5丁目1-14
神戸商工貿易センタービル13F TEL.078-894-3207

ひょうご
まるごと健康
チャレンジ
健康チェック



編集後記

虹の仲間づくりカレッジが2回目の集合研修を終え、いよいよ各チームが実践に向けて動き始めます。

私は、事務局として関わるのが2回目、カレッジ生として1回、生協在籍時に協力部署として一緒に取り組んだ1回と、計4回関わらせてもらっています。

参加者は、お互いどんな組織・仕事をしているかも詳しくない初対面同士ですが、交流をして、課題を共有しあい、各組織の強みや資源、つながりを活かしながら、実践につなげていく過程に、毎回感動します。

「2025年の国際協同同年はどんな取り組みがあったか」といつか振り返ったときに、参加された方々自身が「虹の仲間づくりカレッジでこんな協同組合の方たちと、こんな取り組みをした」と語り継げる機会になればいいな、と思っています。



県連行事予定

10月6日 第3回理事会
10月9日 緊急通行車両担当者会議
10月16日 第2回監事会
10月23日 2025年度兵庫県生協大会